

事務事業コード	742310	事務事業名	治山事業	担当部	農林水産部
政策名	1	快速で魅力あるまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	4	防災対策の推進		グループ	森林整備グループ
基本事業名	2	災害危険箇所の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 37 年度~)
	項	2	林業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	治山事業費		森林法・地方自治法
	コード	742310			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
治山事業の実施(構造物・掘削・植栽等)により山林等の保護を図り、公共施設及び人家等を守る。 ①県単補助治山事業(事業主体・市) 1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。(人家等2戸以上の保護・その他) 県補助70%、住民分担10% ②県営県単治山事業(事業主体・県) 1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。(公共施設の保護・重要なため池又は用排水施設の保護・農地2ha・その他) 市10%負担、住民分担なし			県単補助治山事業4箇所 県営県単治山事業3箇所			
			平成25年度計画			
			県単補助治山事業3箇所 県営県単治山事業3箇所			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	施工箇所数	箇所	5	5	6	6
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	公共施設(道路・水路・河川・建物) 農地・ため池・人家・山林	件	12	12	20	20
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復を図る。	件	5	5	6	6
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	安全性が確保される。	%	54.1	54.4	***	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	13,241
	補正予算	17,500
	予算合計	30,741
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	16,016
	地方債	0
	その他	2,288
	一般財源	10,147
	支出合計	28,451

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
県が国の補助に適用しない荒廃地の復旧及び荒廃の恐れのある山地の予防工事を行うため、昭和37年7月1日に要綱を制定し、事業が開始された。	市民の治山事業への理解や関心が高まり、市民からの要望が増加傾向にある。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
森林所有者や市民から治山事業の推進要望がある。	80万以下の復旧工事を検討してほしい。

事務事業コード	742310	事務事業名	治山事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,361	987	2,348	900	350	1,250	900	350	1,250
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費	2,930	21,895	24,825	1,800	7,650	9,450	1,800	7,650	9,450
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	1,100		1,100	2,000		2,000	2,000		2,000
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金	178		178						
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	5,569	22,882	28,451	4,700	8,000	12,700	4,700	8,000	12,700

財源内訳	国								
	県		16,016	16,016		5,600	5,600		5,600
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他		2,288	2,288		800	800		800
一般財源	5,569	4,578	10,147	4,700	1,600	6,300	4,700	1,600	6,300
計	5,569	22,882	28,451	4,700	8,000	12,700	4,700	8,000	12,700

補助率	国					
	県	70%		70%		70%
補助基本額						

平成24年度	当初予算	13,241千円		
	補正予算	17,500千円		
	第1回	第5回	16,000	
	第2回	第6回		
	第3回	第7回	1,500	
	第4回	第8回		
予算合計	30,741千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
住民分担10%	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	742310	事務事業名	治山事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復が図られ、安全性が確保される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の保護及び市民の安全を確保することは、市の義務(地方自治法)であり、妥当性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	「対象」の「公共施設や人家等」は公的及び人命関連施設のため、妥当。「意図」の「森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復が図られる」は公共施設の利用促進や市民の安全確保であるため、妥当。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	荒地や危険箇所が増加や被害の拡大が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 県単急傾斜地崩壊対策事業等 山の崩壊を防止する治山事業であり、緊急箇所の検討などで連携はとっているが、対象が異なるため統廃合はできない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	標準工法による整備が原則であり、削減余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地元住民等が事業推進員として、サポートしていただくケースも稀にあるが、事務については職員で対応しているため、削減余地は無い。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県を含め、市全域を対象に検討を行い、緊急な箇所から行っているため、公平・公正である。 事業採択の判断の明確化を県に要望する。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		有効かつ適切な事業であるが、緊急性があるものに対するの早期対応、早期事業採択に努めたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
---	--

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742619	事務事業名	藻場・干潟等保全活動支援事業	担当部	農林水産部
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	自然環境の保全		グループ	林務水産グループ
基本事業名	1	公共水域の水質保全		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	3	水産業費	根拠法令・条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H22 ~ H25)
	目	2	水産業振興費		
コード					
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input checked="" type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)
 藻場・干潟は水産資源の保護・培養に重要な役割と水質浄化等の公益的機能があり、漁業者等がその機能の維持・回復に資する保全活動を国と地方自治体がそれぞれの役割に応じて支援する対策。
 【実施主体】錦江・福山町漁協・漁業者
 【交付率】25%
 【事業内容】藻場の保全活動のためにアマモの移植、干潟の保全活動に稚貝の放流等 藻場・干潟の保全・回復と水質浄化を図る。
 交付金事業で国・県・市が地域協議会へ負担金を支出し、協議会から事業主体へ交付を行う事業である。
 この事業は、平成25年度から水産多面的機能発揮対策事業に名称変更されて引き継がれる。

補助金・負担金の交付先	鹿児島県藻場・干潟保全対策協議会	補助金の対象経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア アマモの移植		回	2	2	2	2
イ 稚貝の放流		回	2	2	0	0
ウ 清掃活動		回			3	3
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア 藻場・干潟	アマモの移植及び播種面積	m ²	200	200.0	400.0	400.0
イ	稚貝の放流面積	m ²	18,000	18,000	0	0
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア 藻場・干潟の回復	自然環境に寄与する人工藻場の面積/人工造成計画面積	%	3.2	3.8	3.8	3.8
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア ・資源の増加・水質の保全がなされる	錦江湾の環境基準点第2地点のCOD	mg/l	2.2	2.3	***	***
イ						

(2)事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	1,395	1,230
補正予算		
予算合計	1,395	1,230
国庫補助金		
県支出金	100	
地方債		
その他		
一般財源	1,295	
支出合計	1,395	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成21年調査の水質悪化を改善するために取り組んだ。	藻場が確実に減少している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	資源は増加したか？

事務事業 コード	742619	事務 事業名	藻場・干潟等保全活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計										補助金負担金合計		補助金負担金合計		補助金負担金合計	
										自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1	鹿児島県藻場・干潟保全対策協議会	負担金額	1,125	1,125	1,125				●
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計	1,125	1,125	1,125				1

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,395
補正予算	
合計	1,395

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	742619	事務事業名	藻場・干潟等保全活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	アマモの移植・稚貝の放流等、藻場・干潟の保全回復は公共水域の水質保全につながるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復は湾奥の浄化につながることから妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復は漁業者だけではなく、海を利用する一般市民も対象にしているため妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	4年間の継続事業である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費が確定しているため削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	人件費は予算執行事務のみであり、削減余地がない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復を図るための事業であり、受益者は漁業者のみではなく一般市民となる。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適切な事業であり現状を維持する。なお本事業は、平成24年度をもって事業期間が終了するため、平成25年度以降は同主旨の事業を活用する。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742112	事務事業名	松くい虫防除事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	林務水産グループ
施策名	1	自然環境の保全		電話番号	45-5111
基本事業名	2	森林の保全		内線番号	2372
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	農林水産業費			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S52 年度~)
	項	林業費		根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	林業振興費			森林病害虫等防除法
	コード	742112			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
霧島市内景勝地のレクリエーションの場に欠かすことのできない公益的機能の高い松林について、冬期間に健康な松の樹幹に小孔をあけて予め薬剤を注入し、松くい虫被害を防止する。また、松くい虫による被害木を伐倒・玉切りして枝条まで集積してビニールで被覆くん蒸することで、被害の拡大を防止する。			景勝林樹幹注入事業 国分海浜公園(71本)、霧島神宮参道(36本)、国民休養地(20本) 伐倒・くん蒸事業 霧島神話の里公園周辺(199㎡)			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	景勝松林樹幹注入本数	本	121	127	134	146
イ	伐倒・くん蒸	㎡	201	199	200	300
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	松林	景勝松対象松	本	592	592	592
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	松林が保全される	樹幹注入本数/景勝松対象松	%	20.4	21.5	22.6
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	保全される	植林された森林面積	ha	42.3	22.5	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	5,406
	補正予算	0
	予算合計	5,406
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	4,598
	地方債	0
	その他	211
	支出合計	5,363

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介するマツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始した。	10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り返している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
航空防除に対し、養蜂家から補償の要望があった。	特になし。

事務事業コード	742112	事務事業名	松くい虫防除事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料		5,363	5,363		5,429	5,429		5,373	5,373
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計		5,363	5,363		5,429	5,429		5,373	5,373

財源内訳	国									
	県		4,598	4,598		4,654	4,654		4,624	4,624
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他		211	211		245	245		299	299
一般財源		554	554		530	530		450	450	
計		5,363	5,363		5,429	5,429		5,373	5,373	

補助率	国					
	県	10/10・1/2		10/10・1/2		10/10
補助基本額						

平成24年度	当初予算	5,406千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳		
	補正予算				神宮境内及び参道の樹幹注入事業費の4割を神宮が負担したため		
	第1回		第5回		参加費等の事業実施のための収入説明		
	第2回		第6回				
	第3回		第7回				
	第4回		第8回				
	予算合計	5,406千円					

事務事業コード	742112	事務事業名	松くい虫防除事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	松林の健全育成・保全を実施することで政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客や市民の訪れる憩いの場の自然環境の保全を図ることを目的としているので公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象については松林で、意図については保全であるためそれぞれ妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	景勝松林は樹幹注入により被害防止効果は出ているが、霧島神話の里公園周辺の松林は毎年被害があり、伐倒・くん蒸事業と病害虫に強い黒松等に樹種転換を図る必要がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	松くい虫による松枯れ被害が拡大する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の削減は事業量(成果)の縮小に繋がる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	委託で事業を行うため人件費には影響しない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光資源としても松林を保全することは、広く市民に有益であるので公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 養蜂家への理解が得られず平成20年度から一般航空防除が休止せざるを得なくなったが、その影響が懸念される。また、病害虫に強い黒松等に樹種転換を図る必要がある。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 公益的機能の高い松林について、薬剤の樹幹注入、被害木の伐倒・くん蒸を総合的に組み合わせて防除を行い、松くい虫の被害防止を図るとともに、病害虫に強い黒松等へ樹種変換を図る。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 樹幹注入、伐倒・くん蒸により被害拡大防止に努める。

事務事業コード	742412	事務事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ
施策名	1	自然環境の保全		電話番号	45-5111
基本事業名	2	森林の保全		内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 — 不明)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	森林整備事業費	根拠法令・条例等	なし
	コード	742412			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
市有林を適正に管理するための整備や市有林監視人の設置、また森林国営保険への加入などを行う。 除間伐及び下刈については森林組合等の林業認定事業体に委託して行っている。 森林国営保険については市有林の面積で保険に継続加入、また新規購入の箇所については新たに加入しているが、予算額を見ながら補償率を下げて、通常の掛金よりも安価な掛金で保険に加入している。			下刈 29.19ha 除間伐 45.45ha(補助42.99ha、単独2.46ha) 森林国営保険加入 4,095,069円 市有林監視人による巡視活動 18人				
			平成25年度計画				
			前年度と同様。				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市有林の施業実施面積	ha	41	43	51	51	
イ	森林国営保険加入面積	ha	65	196	211	211	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市有林	市有林面積	ha	2,516	2,531	2,531	2,531
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	適正に管理される。	施業実施面積	ha	41	43	51	51
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	42.3	22.5	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)	
予算額	当初予算額	33,149	27,075
	補正予算	347,287	
	予算合計	380,436	27,075
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	374,978	
	支出合計	374,978	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
市が所有する山林を適切に維持管理するために開始した。	木の林齢が高齢化していくため、今後、補助対象外の山林が増加する。そのため、市単独の除間伐事業等をする必要性が増した。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
環境保全の観点からも市有林の適切な整備を進めていくよう市民から要望がある。	特になし。

事務事業 コード	742412	事務 事業名	森林維持管理事業			担当部	農林水産部
						担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	1,174		1,174	1,334		1,334	1,334		1,334
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	23		23	23		23	23		23
消耗品費	23		23	23		23	23		23
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	7,118		7,118	8,390		8,390	8,400		8,400
通信運搬費									
広告料									
手数料	3,023		3,023	4,290		4,290	4,300		4,300
保険料	4,095		4,095	4,100		4,100	4,100		4,100
13 委託料	9,301		9,301	12,277	83	12,360	12,193	83	12,276
14 使用料及び賃借料	3,534		3,534	4,900		4,900	4,900		4,900
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費	353,756		353,756						
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	72		72	68		68	72		72
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	374,978		374,978	26,992	83	27,075	26,922	83	27,005

財源内訳	国									
	県				27	56	83	27	56	83
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	374,978		374,978	26,965	27	26,992	26,895	27	26,922	
計	374,978		374,978	26,992	83	27,075	26,922	83	27,005	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 24 年度	当初予算	33,149 千円		
	補正予算	347,287 千円		
	第1回	第5回(9月)	1,960	
	第2回	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回(3月)	345,327	
予算合計		380,436 千円		

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	
第8回以降の補正予算内訳 第8回(3月) 345,327	

事務事業コード	742412	事務事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の所有する山林を適切に維持管理することによって、森林が保全されるので政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林のため、市が管理を行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象が市有林であり、この意図が市有林の維持管理であるため適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	適正に管理されており、成果の向上余地としてはない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市有林のため、市が管理を行わなければならない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助事業により、施業できる場所は積極的に補助事業を導入しているので事業費を削減することは困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、市有林の施業は森林組合等の事業体に委託(入札形式)しているため、人件費の削減も困難である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林の維持管理事業であるため、一部の受益者に偏ることはない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林の森林施業については、できるだけ高率の補助事業を活用するよう取り組んでいる。また、森林組合等の事業体が行う「緑の雇用担い手育成事業」での研修場所として積極的に市有林を提供するなどし、無料で施業を実施してもらっている。今後も現状を維持しながら、引き続き適正な事業を行う。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	22	事務事業名	森林環境税事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ
施策名	1	自然環境の保全		電話番号	45-5111
基本事業名	2	森林の保全		内線番号	2361
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H17 年度~)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	森林整備事業費	根拠法令・条例等	なし
	コード	742413			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
市で委嘱した森林づくり推進員活動を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督促、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多目的な機能の維持、増進を図る。また、林業事業者へ間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を助成することにより、森林所有者の施策意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。			森林づくり推進員活動 265日 森林健全化整備 42.24ha 森林づくり基盤整備 12,450m			
			平成25年度計画			
		森林づくり推進員活動 265日 森林健全化整備 60ha 森林づくり基盤整備 19,981m				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	森林づくり推進員活動	日	265	265	265	265
イ	森林健全化整備(森林の除間伐・再造林)	ha	69	42	60	50
ウ	森林づくり基盤整備(作業道・作業路・集材路の路網整備)	m	12,302	12,450	19,981	20,000
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	森林施業計画の対象となる森林	森林施業計画面積	ha	13,106	14,605	14,605
イ	民有林	林業作業従事者数	人	119	101	92
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	計画的な森林整備の促進	施業実施面積/森林施業計画面積	%	7	5	6
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	42.3	22.5	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	6,590
	補正予算	0
	予算合計	6,590
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	795
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	5,361
	支出合計	6,156

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員活動補助がスタートした。また、高齢級除間伐と作業路等の森林基盤整備に対する上乗せ補助を開始した。	木材価格の低下による森林施業意欲が低下している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
森林所有者から、森林を適正に保全するためにさらに支援の拡充の要望がある。	特になし。

事務事業コード	22	事務事業名	森林環境税事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金		1,590	1,590		1,590	1,590		1,590	1,590
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	4,566		4,566	4,830		4,830	4,830		4,830
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	4,566	1,590	6,156	4,830	1,590	6,420	4,830	1,590	6,420

財源内訳	国								
	県		795	795		795	795		795
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	4,566	795	5,361	4,830	795	5,625	4,830	795	5,625
計	4,566	1,590	6,156	4,830	1,590	6,420	4,830	1,590	6,420

補助率	国								
	県		50			50		50	
補助基本額									

平成24年度	当初予算	6,590千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回				第5回				
	第2回				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	6,590千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	22	事務事業名	森林環境税事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果森林が保全されるため施策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的・経済的・社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割であることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	国・県の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	木材価格の低迷による施業意欲の低下により、森林所有者からの施業同意が得られず適切な森林整備が行われていない放置林(民有林)が一部あるため、森林づくり推進員の活動日数を増やし、熱心な事業説明を行うことにより効果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	木材価格の低迷により、施業経費に対する個人負担が重く、補助金廃止となれば施業面積が減少し、森林保全に与える影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	木材価格の低迷により、施業経費に対する個人負担が重く、補助金の削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請、実績報告作成、補助金支払い事務等これ以上の業務時間削減は難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助を行う事業であり公平である。
D 公平性 評価	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在し、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性が高まる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 一部には放置林等も存在するため、森林整備計画において要間伐推進(早急に実施する必要があるもの)を指定し、森林の所在、間伐の実施時期等を明確にして施業実施したい。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 森林整備を進める上で放置林の原因である不在村者への施業の推進を図るため、不在村者を調査する森林管理事業等を導入する。

事務事業コード	742414	事務事業名	森林整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ
施策名	1	自然環境の保全		電話番号	45-5111
基本事業名	2	森林の保全		内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	森林整備事業費	根拠法令・条例等	森林・林業基本法
コード	742414				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
森林所有者の施業意欲の向上と健全な森林を育み、自然環境を保全することを目的として、除間伐に事業費の10%、作業路等の開設に事業費の32%の補助を行い、森林の適切な維持を図る事業である。 【事業実施主体】始良東部森林組合、始良西部森林組合、北始良森林組合 【事業内容】作業路等開設整備・民有林施業(除間伐)								
H24年度実績 作業路等開設整備 560m 森林施業(除間伐) 414.96ha								
補助金・負担金の交付先		霧島市内の3つの森林組合		補助金の対象経費		除間伐・作業路等開設経費		
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	作業路等開設延長		m	560	600	600	600	
イ	施業実施面積		ha	374	490	500	500	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	民有林	森林施業計画面積		ha	13,106	14,605	14,605	14,605
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	施業が進み、森林の整備が図られる。	施業実施面積/森林施業計画面積		%	7	5	6	7
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	森林が保全される。	植林された森林面積		ha	42.3	22.5	***	***
イ								

(2)事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	9,000	8,710
補正予算		
予算合計	9,000	8,710
決算額	国庫補助金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	一般財源	6,485
支出合計	6,485	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
木材価格が低迷し、山林が荒廃しはじめたことから森林組合からの要請があり、平成11年度から助成を開始した。	木材価格が低迷している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
森林所有者からは、環境保護のため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。	特になし。

事務事業 コード	742414	事務 事業名	森林整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
1	始良東部森林組合								補助金	1,954	補助金	3,850	補助金	3,850
									自主財源	19,546	自主財源	34,650	自主財源	34,650
									合計	21,500	合計	38,500	合計	38,500
2	北始良森林組合								補助金	2,662	補助金	2,888	補助金	2,888
									自主財源	26,620	自主財源	25,992	自主財源	35,992
									合計	29,282	合計	28,880	合計	38,880
3	始良西部森林組合								補助金	1,869	補助金	1,972	補助金	1,972
									自主財源	15,960	自主財源	14,778	自主財源	14,778
									合計	17,829	合計	16,750	合計	16,750
4									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
5									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
6									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
7									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
8									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
9									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
10									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計	
計								補助金負担金合計	6,485	補助金負担金合計	8,710	補助金負担金合計	8,710	
								自主財源合計	62,126	自主財源合計	75,420	自主財源合計	85,420	
								自主財源率	91%	自主財源率	90%	自主財源率	91%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	9,000
補正予算	
合計	9,000

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	742414	事務事業名	森林整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果、森林整備が保全される。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林・林業基本法第6条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的・経済的・社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	国・県の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施業意欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同意が得られず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が一部あるため、間伐推進員活動等をさらに活用することにより成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	現在、木材価格が低迷しており、補助金がないと施業経費の負担増となる。廃止すれば森林所有者の意欲が減退し、施業面積が減少する恐れがあり、森林保全に与える影響が大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	木材価格が低迷している現在は補助金がないと施業経費がまかなえない状況であり、これ以上、事業費を削減するのは困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	業務内容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務時間削減は難しい。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は森林組合を通じて山林所有者を対象として補助を行う事業であり公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業等の効果から森林整備への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進んでいる。一方で、森林経営計画の策定が遅れ補助事業の活用ができない地区が存在し、間伐等森林施業を推進する上での支障となっている。また、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林もまだ存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、今後も引き続き森林整備を積極的に進めることで事業の有効性を高める。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 この事業により森林所有者の意識が高まり、森林保全が進んでいるが、一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林もまだ存在しているため、森林経営計画の策定推進に努めるとともに、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、今後も引き続き森林整備を積極的に進める。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 平成25年度に引き続き、適正な事業を行う。

事務事業コード	742010	事務事業名	林業施設維持管理事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	林務水産グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	林業総務費		
	コード	742010		根拠法令・条例等	
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
市民に森林を利用したレクリエーションの場を提供し市民の健康増進を図るため、黒石岳森林公園の維持管理を指定管理者に委託する。ほかの施設については各自治会に無償で管理委託をお願いしている。 適宜施設の修繕を行い施設の維持管理を行う。 管理している施設は、黒石岳森林公園、丸岡公園バンガロー施設、川原加工貯蔵施設、多目的研修集会所(川原、塚脇、清水)、松ヶ野地区林業集会所、溝辺竹子集会所センター、林構事業機械保管倉庫(鐘突)、福山食の交流館である。			林業施設の維持管理(光熱水費57千円、修繕料111千円、保険料162千円、委託料8,326千円)			
			平成25年度計画			
			林業施設の維持管理			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	林業施設維持管理費(委託料)	千円	8,175	8,326	6,200	6,200
イ	〃 (修繕料)	千円	905	111	600	600
ウ	〃 (保険料)	千円	153	162	155	155
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	林業施設	箇所	10	10	10	10
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	施設の適正かつ円滑な管理	件	0	0	0	0
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	体質が強化される	ha	374	490	***	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	9,275
	補正及び流用	▲ 75
	予算合計	9,200
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	8,655
支出合計	8,655	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
林業施設については市の所有であり、施設に関わる維持管理(光熱水費、修繕料及び保険料)を市で行う。	施設の維持管理については特に変化はない
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特にない	特にない

事務事業コード	742010	事務事業名	林業施設維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	168		168	693		693			
消耗品費				41		41			
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	57		57	52		52			
修繕料	111		111	600		600			
12 役務費	162		162	155		155			
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料	162		162	155		155			
13 委託料	8,325		8,325	6,200		6,200			
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費				380		380			
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	8,655		8,655	7,428		7,428			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	8,655		8,655	7,428		7,428			
計	8,655		8,655	7,428		7,428			

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	9,275千円		
	補正及び流用	▲75千円		
	第1回(6月)	第5回		
	第2回	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	流用		▲75
予算合計	9,200千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	742010	事務事業名	林業施設維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林業施設の維持管理をすることは、林産物加工の促進、または経営の強化に繋がっているため意図に結びつくといえる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市所有の施設であり、市が管理することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現在、林業施設を適正かつ円滑に管理している。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	施設を指定管理委託することでサービスの向上につながっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	施設に手が入らなくなることで、老朽化が進み、管理が難しくなることが予想される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	既に必要最小限の経費で管理を行っており、これ以上の経費削減は管理に支障がでることも考えられる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	施設維持管理のための予算執行事務が主であり、これ以上の削減の余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設については市民が使える環境にあり、そこに対し維持管理することについては不公平は生じない。また、施設利用者からは使用料を徴収するため受益者負担についても公平・公正であるといえる。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		林業施設の維持管理を行うことで、林産物加工の促進につながり、また、一部の施設を指定管理委託することで、経費の抑制、サービスの向上が図られている。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742611	事務事業名	なぎさの少年団育成事業	担当部	農林水産部
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	自然環境の保全		グループ	林務水産グループ
基本事業名	4	環境学習の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	3	水産業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	水産業振興費費	根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱
コード	742611				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
福山小学校の全校児童を対象にした自然風土を活用した特色ある教育活動で、マダイ・ヒラメの放流体験、海岸清掃等なぎさを中心とした環境教育を基本とした事業の一部を補助する。								
補助金・負担金の交付先		福山小学校なぎさの少年団		補助金の対象経費				
				なぎさの少年団の活動に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	体験放流・海岸清掃・魚料理教室	団体		1	1	1	1	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	なぎさの少年団員	福山小学校児童数	人	30	25	25	25	
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	団員に自然や漁業に関心を持たせる	放流活動。清掃活動に参加した児童	人	30	25	25	25	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	環境に関する関心と理解を深める。	過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合	%	11.9	13.0	***	***	
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		24年度 (決算)	25年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	
予算額	当初予算額	30	30	なぎさを中心とした環境教育を基本にした諸活動を実施するために福山小学校で平成6年より開始した。	
	補正予算額				
	予算合計	30	30		
決算額	国庫補助金			② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
	県支出金				
	地方債			5年前に比べると児童数が減少している。	
	その他				
	一般財源	30			
	支出合計	30			
				③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	
				④ この事務事業に対する議会から出された意見	
				小学校関係者より自然風土を生かした教育が得られることは子供達にとっても意義のあることなので、事業を続けてほしいとの要望有り。	
				特になし。	

事務事業コード	742611	事務事業名	なぎさの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	福山小学校なぎさの少年団									補助金	30	補助金	30	補助金	30
										自主財源	30	自主財源	30	自主財源	30
	対象地区									合計	60	合計	60	合計	60
										自主財源率	50%	自主財源率	50%	自主財源率	50%
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30
										自主財源合計	30	自主財源合計	30	自主財源合計	30
										自主財源率	50%	自主財源率	50%	自主財源率	50%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額						全国	九州	県	その他
1										
2										
3										
4										
5										
	合計									

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	30
補正予算	
合計	30

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	742611	事務事業名	なぎさの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾の環境に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生の頃から「なぎさ」に関する多様な体験活動を実施することで、環境問題や自分達の手で身近な海を守っていかねばならないという意識を持ってもらう動機づけを行えるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市内の学校に呼びかけているが、手をあげて事業をやりたいという所が見当たらない。福山小学校だけがやりたい意思を持っている。意図については妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上は見込めない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとお一層その体験活動の機会を失うことになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	児童数が減少するなかでこれ以上の市の負担削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主活動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益地区は福山小学校のみの限定されているが、門戸は広げているので公平・公正である。(呼びかけをしていく必要あり)
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校全体で取組んでいるので、今後とも海岸線にある組織として活動を見守りたい。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742111	事務事業名	みどりの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	林務水産グループ
施策名	1	自然環境の保全		電話番号	45-5111
基本事業名	4	環境学習の推進		内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 44 年度~)
	項	2	林業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	2	林業振興費		緑の基金による森林整備等の推進に関する法律
コード	742111				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
次代を担う少年少女が「緑を愛し」「緑を守り」「緑を育てる心を養う」ことを通じて、人間性豊かな健康的で明るい社会人として育っていくことを目的として活動している。市からの助成等により、みどりの少年団の育成と健全な発展を図っている。 霧島市には市内5つの小・中学校にみどりの少年団が存在する。 竹子緑の少年団 竹子小学校 安良緑の少年団 安良小学校 霧島山緑の少年団 三体小学校 霧島小緑の少年団 霧島小学校 福山中緑の少年団 福山中学校 少年団の主な活動としては、みどりの感謝祭や地区交流会などの森林体験学習のほか、地区植樹祭への参加や街頭募金活動を行っている。								
補助金・負担金の交付先		みどりの少年団(5団体)		補助金の対象経費				
				運営費。活動費補助				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	みどりの感謝祭開催		回	1	1	1	1	
イ	活動発表大会及び交流集会		回	1	1	1	1	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	みどりの少年団(5団体)		みどりの少年団員	人	146	140	140	140
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	活動を通じて森林の持つ役割を市民に伝え理解を得る		緑化活動へ参加した団員延べ参加数	人	1,886	1,753	1,800	1,800
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	環境に関する関心と理解を深める		過去3年間に環境学習に参加したことがある市民の割合	%	11.9	13.0	***	***
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 次代を担う青少年を大自然の中で緑を愛し、守り育てる心と健康で明るい心をもった人間を育てることを目的として開始される。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 緑の少年団活動に取り組んでいる小中学校の児童生徒数が減少してきている。	
予算額	当初予算額	315			305
	補正予算額				
	予算合計	315			305
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	201			
	支出合計	201			

事務事業コード	742111	事務事業名	みどりの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	竹子緑の少年団育成会									31人	補助金	23	補助金	23	補助金	23
											自主財源	181	自主財源	153	自主財源	153
											合計	204	合計	176	合計	176
										自主財源率	89%	自主財源率	87%	自主財源率	87%	
2	霧島山緑の少年団育成補助金									10人	補助金	23	補助金	23	補助金	23
											自主財源	156	自主財源	96	自主財源	96
											合計	179	合計	119	合計	119
										自主財源率	87%	自主財源率	81%	自主財源率	81%	
3	霧島小緑の少年団									10人	補助金	23	補助金	23	補助金	23
											自主財源	81	自主財源	90	自主財源	90
											合計	104	合計	113	合計	113
										自主財源率	78%	自主財源率	80%	自主財源率	80%	
4	福山中緑の少年団									21人	補助金	23	補助金	23	補助金	23
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計	23	合計	23	合計	23
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5	安良小緑の少年団									68人	補助金	23	補助金	23	補助金	23
											自主財源	29	自主財源	29	自主財源	29
											合計	52	合計	52	合計	52
										自主財源率	56%	自主財源率	56%	自主財源率	56%	
6	バス借り上げ										補助金	86	補助金	190	補助金	190
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計	86	合計	190	合計	190
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										140人	補助金負担金合計	201	補助金負担金合計	305	補助金負担金合計	305
											自主財源合計	447	自主財源合計	368	自主財源合計	368
											自主財源率	69%	自主財源率	55%	自主財源率	55%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	315	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	315	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	742111	事務事業名	みどりの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	次代を担う少年少女の活動を通じ、自然環境に対する関心が高まるため森林の保全へ結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	次代を担う少年少女に対して、自然環境の学習に取り組むことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	みどりの少年団員に自然環境に対する関心を高めてもらうための事業であり対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	少年団の間でも活動内容において差があるので、活動団体の創設や活動内容の平準化をおこなうことで、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	現在、緑の少年団の運営状態が難しい状況にあるなか、補助金を廃止した場合、活動に大きな影響が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 森林保全を目的とした、少年・少女対象の団体はなく、他の団体との統合は難しい。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	活動経費としての体験学習等の部分を補助しているため教材費等の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	緑の少年団の活動は自主的な活動が主であり、職員は補完的な役割である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各みどりの少年団に同様の補助を行っており、公平である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 各学校に少年団の加入を促進し、緑の少年団員を増やしたい。そのためには親の理解が必要のため、そのための広報、周知にも力をいれたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 緑の少年団員がイベントに参加をするための環境作りをすることで、より多くの少年団員がイベントを通して成長する効果がある。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 団員の拡大に努め、幅広い活動をするための環境作りをする。

事務事業コード	742612	事務事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	自然環境の保全		グループ	林務水産グループ
基本事業名	4	環境学習の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	農林水産業費			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H1 年度~)
	項	水産業費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	水産業振興費		根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱
コード	742612				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)							
イベントを開催し、市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするとともに、河川 の環境保全・資源保護啓発の推進を図る事業である。 隼人地区の日当山温泉公園で年に1回、6月1日の鮎解禁日後の日曜日に開催。関係団体(地域、漁協や商工会、旅館、観光協会など)によって組織される鮎まつり実行委員会が主催する。 鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売・魚のつかみ取り等各コーナーを設置し実施する。 19年度から鮎の売上代金も事業費の中に入っている。							
補助金・負担金の交付先	鮎まつり実行委員会		補助金の対象経費	鮎まつり開催に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	イベント開催数		回	1	1	1	1
イ	鮎まつりの参加者数		人	3,000	3,000	9,000	9,000
ウ	設置されるコーナーの数		箇所	4	4	6	6
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	市民及び市外からの来客者	来場者数	人	3,000	10,000	5,000	5,000
イ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを知ってもらおう。	鮎のつかみ取りの参加者/来場者数	%		2	3	3
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合	%	11.9	13.0	***	***
イ							

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
		24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	920	920	平成1年日当山天降川漁業協同組合よりまつりを通して天降川の鮎を県内外にPRを行いたいとの要望による。		来客数も年々増加し、鮎のPRや河川の環境保全・資源保護啓発が図られてきたが、この事業が行政主体になっている。	
	補正予算額						
	予算合計	920	920				
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 実行委員会のあり方を再考する時期にきている。		④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。	
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,000					
	支出合計	1,000					

事務事業 コード	742612	事務 事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)									
	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源								
1 鮎まつり実行委員会	補助金	920	補助金	870	補助金	870								
	自主財源	689	自主財源	739	自主財源	739								
	合計	1,609	合計	1,609	合計	1,609								
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率	43%	自主財源率	46%	自主財源率	46%
2	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10	補助金		補助金		補助金									
	自主財源		自主財源		自主財源									
	合計		合計		合計									
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	920	補助金負担金合計	870	補助金負担金合計	870							
		自主財源合計	689	自主財源合計	739	自主財源合計	739							
		自主財源率	43%	自主財源率	46%	自主財源率	46%							

■負担金の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	920
補正予算	
合計	920

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	742612	事務事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	まつりでの自然体験や川の生物を知ることにより天降川が自然豊かな川であることを知る機会が得られ、川の環境に対する関心と理解が深まるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	環境問題について関心が多い昨今、市民ひとりひとりが環境問題や自分達の川を守っていかなければならないという意識を多くの市民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市、県内外を問わず多くの人が来場でき妥当である。意図もまつりを通して霧島市を流れる天降川の自然を市、県内外にアピールし環境に関しての意識を高めてもらうために妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	来場者の目的が決まっているので、成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	廃止した場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川であることを県内外の人々に知ってもらう機会が減る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	まつり当日の鮎の売上げが増加すれば事業費削減の余地あり。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会の委員の属する地域や各団体がそれぞれ準備段階から協力していただくと業務時間の大幅な削減がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対象であり、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	漁協の要望により始まった催しであるが、ここ最近は漁協の関わりが少なくなっている。事業がただ鮎を食べたい、鮎を買いたいというだけの催しになっている。実行委員会の有り方を問う時期に来ている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度(今年度)の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度(来年度)に取り組むべき具体的な内容
実行委員会の事務局移管について協議する。	平成24年度の検討結果に基づき対応する。

事務事業コード	742110	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		内線番号	2363
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 48 年度~)
	項	2	林業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	2	林業振興費		特になし
コード	742110				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

近年、生産者の減少や高齢化により、乾、生しいたけともに生産量は減少傾向にあり、霧島市の椎茸産業の振興を図るため、椎茸原木の安定供給と乾椎茸系統共販体制を確立する。また、椎茸の安定供給による良質・安定な食品等に対する市民の期待に応えながら、会員相互の連絡調整と技術の向上を図るために助成をする。

補助金・負担金の交付先	霧島市椎茸振興会	補助金の対象経費	運営費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	しいたけ生産振興会補助団体数(本部・支部)	団体	4	4	4	4
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	しいたけ生産振興会員	人	25	25	23	23
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	しいたけ生産量が増大する	Kg	20,306	29,125	30,000	30,000
イ		Kg	207,402	119,961	120,000	120,000
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	経営体質が強化される	ha	374	490	***	***
イ						

(2) 事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額		
当初予算額	60	60
補正予算額		
予算合計	60	60
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	60	
支出合計	60	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
昭和48年に生産者の技術向上、生産性向上、経営の安定を目的として開始した。	生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など、しいたけ生産を取り巻く環境は厳しい状況にある。そのなか、霧島市のしいたけ生産者は、県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けるなどし、安心・安全な県産特産物の供給体制づくりに努めている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業コード	742110	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	霧島市椎茸振興会									25人	60	38	60	27	60	27
			○		○	○				98	39%	87	31%	87	31%	
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
2																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
3																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
4																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
5																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
6																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
7																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
8																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
9																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
10																
										合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
計									25人	60	38	60	27	60	27	
										39%		31%		31%		

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	60	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	60	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	742110	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	しいたけ生産組織を支援し、経営体の強化を図ることで、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	しいたけ生産組織の育成は林産物の振興を図るのにつながり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象はしいたけ振興会員であり、意図は生産量の増大であるため農林水産業の振興につながり適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	しいたけ振興会を通じて組織的に活動する事により、しいたけ乾燥機購入等の補助事業が受けられ、生産性の向上につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金を廃止した場合、研修会や現地検討会等の活動の機会が減少し、組織の衰退につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	生産者は県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けており、今後も安心・安全な県産特産林産物の供給体制づくりを続けるためには必要である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	予算執行が主な業務であり、事務局も委任されず職員の負担も少ないため削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	しいたけ産業の振興のため、事業者として生産者組織に加入し、活動するものであり、公平である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		生産高を増やし、安定した収入を得るにはどのような補助事業をすればいいのかを、再度考え実行する必要がある。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成23年度 of 取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度にに取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742415	事務事業名	森林整備地域活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	森林整備グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	2	林業費	根拠法令・条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H14 ~ H25)
	目	5	森林整備事業費		霧島市森林整備地域活動支援交付金交付要綱 鹿児島県森林整備地域活動支援交付金交付要綱
コード	742415				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

木材価格の長期にわたる低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞しており、森林施策が的確に実施されにくい状況となっている。
 そのため、森林施策計画に基づく協定を締結した山林、または今後、施策計画に組み込む山林などで、下記の3つの地域活動を行った場合に、それぞれhaあたり定額の交付金を交付し、山林の現況調査や作業路等の補修を行い、森林施策の推進を図る。
 ①森林経営計画作成促進
 ②施策集約化の促進
 ③作業路網の改良活動

補助金・負担金の交付先	霧島市管内の3つの森林組合、霧島神宮、森林整備公社	補助金の対象経費	森林施策につながる地域活動
-------------	---------------------------	----------	---------------

② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	支援交付金交付団体	団体	5	4	4	4
イ						
ウ						

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	森林整備協定締結者(団体)	協定	48	25	25	25
イ	森林施策計画対象区域内の森林	ha	9,674	12,325	12,325	12,325

⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	間伐等森林整備が進む	団体	5	4	4	4
イ		ha	13,106	14,605	14,605	14,605
ウ						

⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	体質が強化される	ha	374	490	***	***
イ						

(2) 事業費		単位: 千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	24年度 (決算)	25年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成14年度より森林施策の推進を図るため、国がこの事業を開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 14年度から18年度までは支援事業対象面積に対し10,000円/ha交付していたが、平成19年度より事業の内容により単価を分けて交付するようになった。さらに平成23年度から森林経営計画制度が導入されたため、現在は森林施策計画から森林経営計画への移行期となる。これに伴い、本事業においても国により対象活動の大幅な見直しが行われている。	
予算額	当初予算額 52,029	47,730			
	補正予算 -2,855				
	予算合計 49,174	47,730	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 特に要望・意見等は寄せられていない。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
決算額	国庫補助金				
	県支出金	36,112			
	地方債				
	その他				
	一般財源 12,038				
	支出合計 48,150				

事務事業コード	742415	事務事業名	森林整備地域活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)								
1	始良東部森林組合	補助金	24,300	補助金	24,300	補助金	24,300							
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
		○				○	○	○	合計	24,300	合計	24,300	合計	24,300
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
2	北始良森林組合	補助金	14,032	補助金	16,080	補助金	16,080							
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
				○	○				合計	14,032	合計	16,080	合計	16,080
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3	始良西部森林組合	補助金	7,308	補助金	5,400	補助金	5,400							
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
			○						合計	7,308	合計	5,400	合計	5,400
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4	(社)鹿児島県森林整備公社	補助金	2,510	補助金	1,950	補助金	1,950							
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
		○		○	○	○	○		合計	2,510	合計	1,950	合計	1,950
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5	霧島神宮	補助金		補助金		補助金								
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
						○			合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6		補助金		補助金		補助金								
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
									合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7		補助金		補助金		補助金								
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
									合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8		補助金		補助金		補助金								
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
									合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9		補助金		補助金		補助金								
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
									合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10		補助金		補助金		補助金								
		自主財源		自主財源		自主財源								
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					
									合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	48,150	補助金負担金合計	47,730	補助金負担金合計	47,730							
		自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計								
		自主財源率		自主財源率		自主財源率								

■負担金の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
					全国	九州	県	その他
1	負担金額							
2	負担金額							
3	負担金額							
4	負担金額							
5	負担金額							
合計								

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	52,029
補正予算	▲ 2,855
合計	49,174

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(3月)
第3回		第6回			▲ 2,855

事務事業コード	742415	事務事業名	森林整備地域活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	当事業により森林施業がすすみ、森林整備が図られ、その結果経営体の体質が強化される。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国の事業であり、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	国、県の実施要領に基づき事業を行っているため適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	森林づくり推進員活動等も積極的に利用することにより、森林整備の重要性を所有者に理解してもらい、森林経営計画(森林施業計画)への参加を促進し、また、施業の集約化を進め、施業の団地化を行うことにより、成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	現在木材価格が低迷しており、廃止すれば森林所有者の負担が増えるため、施業面積が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 国、県の実施要領に基づき事業を行っており、類似事業もないため統廃合・連携は難しい。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	国の制度により負担割合が決められており、事業費を削減するのは困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	交付金の支払いに伴う事務が大半であり業務時間削減は難しい。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は森林組合等を通じて山林所有者への補助(施業前の森林現況調査や作業路開設等)を行う事業であり公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業等の効果から森林整備への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進んでいる。一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林もまだ存在しているため、森林整備のみならず森林の公益的機能の高度發揮の観点からも森林保全の重要性の啓発を行い、今後も引き続き森林整備を積極的に進めることで事業の有効性を高める。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 平成23年度より間伐に対する国の補助金が5ha以上集約化した場合に限定されることになったため、集約化に必要な所有者や境界の確認、間伐実施の森林所有者の同意取り付けなどに係る手間暇、経費について本事業で支援することになった。よってこの事業を活用しながら森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、今後も引き続き森林整備を積極的に進める。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 平成25年度に引き続き、適正な事業を行う。

事務事業コード	742113	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	林務水産グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S44 年度~)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	林業振興費	根拠法令・条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律
コード	742113				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
近年、野生鳥獣による農作物の被害が恒常的に発生しているため、被害等の状況を的確に把握するとともにその被害防止策を図る。 霧島市が捕獲従事者として依頼している捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を指示し、農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣捕獲を速やかに行い、被害の軽減に努めている。(捕獲報償金を支払う) 霧島市が有害鳥獣捕獲報償費の対象としている鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、タヌキ、アナグマ、ノウサギ、カラス及びニホンザルであり、原則として一般猟期期間以外(4月1日から3月31日)に捕獲隊員に対して捕獲指示を出し、農林業被害軽減のために有害鳥獣の捕獲を行っている。捕獲達成率については、概ね毎年75%程度で推移している。鳥獣の被害の傾向としては国分、隼人及び福山地区については、イノシシによる被害が主であり、溝辺、横川、牧園及び霧島地区については、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの被害が多く見受けられる。			有害鳥獣駆除報償金の交付(イノシシほか2,091頭(羽)、11,881千円) 捕獲隊への運営費補助(5団体、463千円)				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	有害鳥獣の捕獲指示	件	104	118	110	110	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	農林水産物	被害件数	件	230	235	230	230
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	有害鳥獣による農林水産物の被害を防止する	捕獲見込み頭(羽)数	頭(羽)	1,934	2,091	2,000	2,000
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	374	490	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)	
予算額	当初予算額	7,411	9,445
	補正予算	5,859	
	予算合計	13,270	9,445
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	12,777	
	支出合計	12,777	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
鳥獣による農林水産物への被害を軽減するため昭和44年から実施が始まった。	鳥獣による農林水産物等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律が平成20年に施行され、被害防止対策が強化された。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
農・林家から被害防止対策の強化を要望されている。	特になし。

事務事業コード	742113	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	11,962		11,962	8,490		8,490	8,500		8,500
9 旅費	7		7	28		28	43		43
10 交際費									
11 需用費	105		105	125		125	253		253
消耗品費	87		87	100		100	228		228
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	17		17	20		20	20		20
飼料費	1		1	5		5	5		5
12 役務費	10		10	80		80	120		120
通信運搬費	10		10	80		80	120		120
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	225		225	225		225	225		225
14 使用料及び賃借料	5		5	5		5	5		5
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	463		463	492		492	450		450
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	12,777		12,777	9,445		9,445	9,596		9,596

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	12,777		12,777	9,445		9,445	9,596		9,596
計	12,777		12,777	9,445		9,445	9,596		9,596

補助率	国								
	県	1/2・1/3			1/2・1/3				
補助基本額									

平成24年度	当初予算	7,411千円		
	補正予算	5,859千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回(3月)	5,859
予算合計		13,270千円		

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	742113	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鳥獣被害防除・捕獲することが農林業経営体への支援となっているので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	被害は市内全域に及ぶため、公共で行うべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は農林水産物であり妥当である。意図については、有害鳥獣による被害の防止なので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	体制の強化は、捕獲隊員の新規加入の促進や、農家自身によるわな免許の取得を推進することで、成果向上が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	有害鳥獣による農林水産物への被害が拡大する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 霧島市イノシシ等鳥獣被害防止電気柵事業 平成21年度に「霧島市鳥獣被害防止計画書」を策定し、防御と捕獲の連携により被害件数の減少に繋がる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	捕獲実施にあたっては、銃器、罠ともに銃砲用火薬類や道具代などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、捕獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	支所単位での事務(被害調査、捕獲指示等)の統一化を図り、効率的な事務事業を行う。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全ての農林水産物に対応しているため公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 《有効性改善》 捕獲隊員の減少を防止するため、新規加入の促進、わな猟免許取得促進の地元説明会等の普及啓発が必要である。 《効率性改善》 捕獲隊の統合や情報の共有化を行うことにより、事務の効率化をする必要がある。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
農政畜産課の霧島市鳥獣被害防止対策協議会の交付金で捕獲器を購入し、電気柵と連携することにより被害軽減に努める。 捕獲隊員の新規加入の促進、わな猟免許取得促進のため、地元説明会を開催する。 各総合支所と情報を共有することによる事務の効率化を図る。 地域ぐるみで防御・捕獲に取り組めるよう、地元説明会等を通じ地域の理解と協力を図る。 隣接市町との情報共有などを行い連携した捕獲活動を実施するための協議を進める。	農政畜産課の霧島市鳥獣被害防止対策協議会の交付金で捕獲器を購入し、電気柵と連携することにより被害軽減に努める。 新規加入の促進、わな猟免許取得促進のため、県猟友会によるわな免許講習会(助成制度)など利用し、新規隊員の増加を図る。 各総合支所と情報を共有することによる事務の効率化を図る。 地域ぐるみで防御・捕獲に取り組めるよう、地元説明会等を通じ地域の理解と協力を図る。 隣接市町との情報共有などを行い連携した捕獲活動を実施するための協議を進める。 (防除等は農政畜産課・捕獲については林務水産課)

事務事業コード	742114	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	森林整備グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 3 年度~)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	林業振興費	根拠法令・条例等	なし
コード	742114				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
(社会保険制度等加入事業補助金) 林業従事者の福利厚生の充実、技術、技能の向上及び労働安全衛生の充実を図る。 始良東部森林組合(12人) 609, 200円 北始良森林組合(32人) 2, 551, 200円 始良西部森林組合(10人) 878, 100円 (林業退職金加入促進事業補助金) 林業従事者の林業退職金共済制度の掛け金の一部を助成し、当該制度等への加入を促進することにより、林業従事者の就労条件を改善し、就労の長期安定化に資することを目的とする。 始良東部森林組合(7人) 276, 700円 北始良森林組合(36人) 920, 000円 始良西部森林組合(10人) 338, 700円								
補助金・負担金の交付先		霧島市内の3つの森林組合		補助金の対象経費		社会保険、退職金共済制度の掛け金の一部負担		
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	補助金額		千円	5,707	5,574	6,528	6,528	
イ	交付対象者		人	119	101	92	92	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	林業従事者	林業従事者数		人	119	101	92	92
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	林業従事者の就労条件が改善される	社会保険等加入対象従事者		人	58	48	46	55
イ	林業従事者の就労条件が改善される	退職金制度加入対象従事者		人	61	53	46	65
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積		ha	374	490	***	***
イ								

(2) 事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	7,255	6,528
補正予算		
予算合計	7,255	6,528
決算額	国庫補助金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	一般財源	5,574
	支出合計	5,574

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成3年度から林業従事者の就労条件の改善による労働力の確保を目的として開始。	特に変化なし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業コード	742114	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	始良東部森林組合										補助金 886	補助金 1,277	補助金 1,277	補助金 1,277	自主財源 1,772	自主財源 2,554	自主財源 2,554
	対象地区		○					○	○	合計 2,658	合計 3,831	合計 3,831	合計 3,831	自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%	
										自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%				
2	北始良森林組合										補助金 3,471	補助金 3,547	補助金 3,547	補助金 14,577	補助金 7,095	補助金 7,095	
	対象地区				○	○				合計 18,048	合計 10,642	合計 10,642	合計 10,642	自主財源率 81%	自主財源率 67%	自主財源率 67%	
										自主財源率 81%	自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%				
3	始良西部森林組合										補助金 1,217	補助金 1,702	補助金 1,702	補助金 2,433	補助金 3,406	補助金 3,406	
	対象地区			○						合計 3,650	合計 5,108	合計 5,108	合計 5,108	自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%	
										自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%	自主財源率 67%				
4											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
5											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
6											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
7											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
8											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
9											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
10											補助金	補助金	補助金	補助金	自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率				
計										補助金負担金合計	5,574	補助金負担金合計	6,526	補助金負担金合計	6,526	補助金負担金合計	6,526
										自主財源合計	18,782	自主財源合計	13,055	自主財源合計	13,055	自主財源合計	13,055
										自主財源率	77%	自主財源率	67%	自主財源率	67%	自主財源率	67%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	7,255
補正予算	
合計	7,255

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林業従事者の就労条件の改善がなされれば、林業経営体の体質が強化されるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林業経営が厳しい中、労働力の確保には就労条件(身分保障)の改善が必要であり、林業振興を行う必要、施行面積の増加を図る必要があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	林業従事者を対象としているため、その就労条件を改善することは意図として適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	上位組織補助制度であって、補助事業の改善等はできないため、市で成果を向上させることはできない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	認定事業体の負担が増すため、社会保障等の費用が増加し、経営を圧迫する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	国(担い手基金)の事業で負担割合1/3が決定している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付事務であるため、削減する部分がない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	上位組織補助制度であるため、受益機会は公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適切な事業であるため、現状維持とする。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度 of 取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742613	事務事業名	海面環境保全事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	林務水産グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 59 年度~)
	項	3	水産業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	水産業振興費	根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱
コード	742613				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

毎年海の日的前後に桜島の火山活動に伴い堆積した軽石が梅雨、台風等の大雨の際に大量に海面に流失し、又河川からの流木等が海面に浮遊し福山港に漂着し漁船の航行を阻害するので、重機等を使って除去する処理事業に係る費用の一部を助成する。

補助金・負担金の交付先	福山町漁業協同組合	補助金の対象経費	福山町漁業協同組合の活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	海面環境保全事業	回	2	1	1	1
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	海面漁業者	清掃作業の参加者	人	20	20	20
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	漁船被害の軽減	安全に安心して漁場を運行する漁船	船	60	60	60
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41.4	48.3	***
イ						

(2) 事業費 単位：千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)
予算額		
当初予算額	136	136
補正予算額		
予算合計	136	136
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	136	
支出合計	136	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
県の桜島軽石等除去事業で実施されていたが、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業関係者の強い要望により単独補助とした。	変化なし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
台風時期等の浮遊物除去により被害解消及び海岸周辺がきれいになった(漁業関係者、周辺住民)。	特になし。

事務事業 コード	742613	事務 事業名	海面環境保全事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)								
1	福山町漁業協同組合							補助金	136	補助金	136	補助金	136	
								自主財源	221	自主財源	221	自主財源	221	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	357	合計	357	合計
									自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%
2								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計									補助金負担金合計	136	補助金負担金合計	136	補助金負担金合計	136
									自主財源合計	221	自主財源合計	221	自主財源合計	221
									自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%

■負担金の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	136
補正予算	
合計	136

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全な船舶の航海の確保を推進し、漁業者の安定経営を支援することで政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	漁業の振興及び環境保全への取り組みを支援することは、行政が関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象を漁業者とし、意図を安全航行の確保としたことから適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	安全な航海が確保できなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	予算執行等の事務のみであることから削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全な船舶の航海の確保を推進し、周辺漁業者全てが受益者であることから公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適切な事業であり現状を維持する。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742610	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	林務水産グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	3	水産業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	水産業振興費	根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱
コード	742610				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)	
アオリイカ、コウイカ等の産卵場所の少ない福山地区の沖合いにイカ柴を投入また浜之市沖に人口イカ産卵床を設置し、アオリイカ、コウイカの産卵魚礁を形成し、イカの増産育成に努め漁業の生産安定を図る。	

補助金・負担金の交付先	福山町漁業協同組合	補助金の対象経費	福山町漁業協同組合の活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2
イ	投入回数(年度内)	回	2	2	2	2
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	漁業者の経営安定	イカ柴投入数	個	90	90	90
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41.4	48.3	***
イ						

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	270	福山港沖はイカ等の産卵場所が少ないためイカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協からの要望により平成17年から開始した。浜之市沖も錦江漁協青壮年部の自主事業でしていたが23年度より設置事業を開始した。	水質の低下、水産資源の枯渇や燃油等の高騰により漁業を取り巻く状況は厳しくなっている。	
	補正予算額				
	予算合計	270			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	270			
	支出合計	270			
			特になし。	特になし。	

事務事業 コード	742610	事務 事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	福山町漁業協同組合									補助金	190	補助金	190	補助金	190
										自主財源	210	自主財源	210	自主財源	210
										合計	400	合計	400	合計	400
2	錦江漁業協同組合									補助金	80	補助金	80	補助金	80
										自主財源	83	自主財源	83	自主財源	83
										合計	163	合計	163	合計	163
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計										補助金負担金合計	270	補助金負担金合計	270	補助金負担金合計	270
										自主財源合計	293	自主財源合計	293	自主財源合計	293
										自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額	全国	九州	県	その他											
1																
2																
3																
4																
5																
合計																

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	270
補正予算	
合計	270

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	742610	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	イカ柴の投入を行うことによって漁業者の経営安定が図られるため、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	イカ柴の投入事業により漁獲高を上げ漁業者の経営安定を図ることができるために妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は漁協、意図は漁業者の経営安定であって適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の殆んどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	人件費としては、予算執行事務と投入立会いのみであるので、これ以上の削減は難しい。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は全ての漁業者であるため適正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適切な事業であり現状を維持する。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742615	事務事業名	漁業資源放流支援事業(パイロット事業)	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	水産グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	2	生産基盤の整備		内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	3	水産業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	2	水産業振興費		霧島市水産業事業補助金交付要綱
コード	742615				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
海面漁業者によるヒラメ3, 300匹とマダイ27, 623匹を隼人町及び国分地先と福山町漁協地先沖合い50mにそれぞれ4月から7月にかけて放流を行う事業の経費について、一部補助を行う。								
補助金・負担金の交付先		錦江漁業協同組合・福山町漁業協同組合		補助金の対象経費		錦江漁協・福山町漁協の活動に要する経費		
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2		
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	
イ		放流回数	回	4	4	4	4	
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41.4	48.3	***	***	
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	194	194	年々資源が枯渇していく湾奥の水産資源の維持や増大を図るため、平成8年度より開始された。	湾奥に位置する漁場のため水質の悪化、漁業者の高齢化、漁業資源の減少等、漁業者を取り巻く環境は厳しい。
	補正予算額				
	予算合計	194	194		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	194			
	支出合計	194		漁業を取り巻く環境が悪化しているため、放流事業は継続してほしい(地元漁協)。	特になし。

事務事業 コード	742615	事 務 事 業 名	漁業資源放流支援事業(パイロット事業)	担 当 部	農林水産部
				担 当 課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	錦江漁業協同組合									補助金	128	補助金	128	補助金	128
										自主財源	204	自主財源	204	自主財源	204
										合計	332	合計	332	合計	332
2	福山町漁業協同組合									補助金	66	補助金	66	補助金	66
										自主財源	94	自主財源	94	自主財源	94
										合計	160	合計	160	合計	160
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計										補助金負担金合計	194	補助金負担金合計	194	補助金負担金合計	194
										自主財源合計	298	自主財源合計	298	自主財源合計	298
										自主財源率	61%	自主財源率	61%	自主財源率	61%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	194
補正予算	
合計	194

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	稚魚を放流することによって漁協の経営安定につながり効率的な生産を行う基盤が整うので政策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができ、霧島市に隣接する湾奥の活性化にもつながることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	漁場や湾奥の活性化は漁協だけでなく、それを利用する一般市民も対象にしているため妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	稚魚の放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費のすべてが放流時の用船代等であり、削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業費を支給するのは各漁協であるが、その稚魚は公共の漁場に放流されるため、受益者は漁業者のみでなく、遊漁者等広く市民となる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適切な事業であり現状を維持する。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の実施概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742614	事務事業名	漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	林務水産グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2371
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	3	水産業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	2	水産業振興費		霧島市水産業事業補助金交付要綱
コード	742614				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
種苗(カサゴ10,000匹は、隼人町浜之市沖・稚鮎150Kgは、天降川水系の中津川・金山川・万膳川)の放流を毎年4月に行うことにより、資源の維持増殖に努めるとともに漁獲の向上を図り、地区漁民の生産を高め生活の安定を図る。								
補助金・負担金の交付先		錦江漁業協同組合・福山町漁協同組合		補助金の対象経費		錦江・福山町漁業協同組合の活動に要する経費		
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	補助金交付団体数	団体		2	2	2	2	
イ	放流回数	回		2	2	2	2	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	海面漁業者	海面漁業者数	人	158	158	158	158	
イ	内水面漁業者	内水面漁業者数		27	27	27	27	
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41.4	48.3	***	***	
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等			
		24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	658	658	年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため平成18年から実施。		漁業者の高齢化や漁業資源の減少など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。	
	補正予算額						
	予算合計	658	658				
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	658					
	支出合計	658		水産資源の枯渇を防ぐためにも放流事業等を今後も続けてほしい(錦江漁業協同組合)。		特になし。	

事務事業 コード	742614	事 務 事 業 名	漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)	担 当 部	農林水産部
				担 当 課	林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	錦江漁業協同組合									補助金	273	補助金	273	補助金	273
										自主財源	333	自主財源	333	自主財源	333
										合計	606	合計	606	合計	606
2	天降川漁業協同組合									補助金	385	補助金	385	補助金	385
										自主財源	620	自主財源	620	自主財源	620
										合計	1,005	合計	1,005	合計	1,005
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計										補助金負担金合計	658	補助金負担金合計	658	補助金負担金合計	658
										自主財源合計	953	自主財源合計	953	自主財源合計	953
										自主財源率	59%	自主財源率	59%	自主財源率	59%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額	負担金額	負担金額	負担金額	負担金額	負担金額	負担金額	負担金額	負担金額	全国	九州	県	その他				
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
合計																	

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	658
補正予算	
合計	658

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	稚魚の放流を行うことによって漁業者の経営安定が図られ、結果政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は漁協、意図は漁業者の経営安定であるため妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業目的以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	稚魚の放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	その稚魚は錦江湾の漁場に放流され、受益者は全ての漁業者であるため適正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適切な事業であり現状を維持する。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	742215	事務事業名	林道整備事業(県単)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	森林整備グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2361
予算科目	会計	一般会計			
	款	6 農林水産業費	項 2 林業費	目 3 林道事業費	コード 742215

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
林道の未改良(路線・流末)・未舗装路線	林道を改良(路線・流末)、舗装することによって間伐等森林整備の作業効率が高まる。	効率的な生産を行うための基盤が整う。

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	林道 上井線	継続	改良舗装 L=75m W=4.0m 補償・委託・工事	継続	道路改良 L=200m W=4.0m 用地・補償・委託・工事	H 27	
		国分	9,400	国分	10,000		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 1 新規 = 0 継続 = 1 新規 = 0

		H 24	H 25	<全体事業費>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	1	1		事業費	9,400	10,000	600
溝辺				事務費	0	0	0
横川				合計	1路線 9,400	1路線 10,000	600
牧園							
霧島							
隼人				<財源内訳>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
福山				国庫補助金			0
				県支出金	3,360	3,480	120
				地方債			0
				その他			0
				一般財源	6,040	6,520	480
				合計	9,400	10,000	600

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	② この事務事業に対する議会から出された意見
山林所有者及び地域住民より県道より市道へ接続する林道整備要望が強い。作業道部分が狭隘かつ未舗装で荒れており改良舗装の要望が寄せられている。	特になし。

事務事業 コード	742215	事務 事業名	林道整備事業(県単)	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道の整備を行なうことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行なうための基盤整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道の整備は市の役割である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	林道流末未整備による山地災害の危険性、林道の維持管理費の増加及び森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要な箇所のみでの改良実施と仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を推進する観点から、今後は開設、改良、舗装事業等により森林整備の作業効率を高めたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	742212	事務事業名	林道整備事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	林務水産課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	森林整備グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2362
予算科目	会計	一般会計			
	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目
				3 林道事業費	コード
					742212

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
林道開設路線 林道未改良(舗装改良)路線	林道開設や林道改良、舗装を行うことにより間伐等森林整備の作業効率が高まる。	効率的な生産を行う基盤が整う。

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	荒平線	継続	道路改良 L=280m w=4.0m	継続	道路改良 L=280m W=4.0m 用地・補償	H 27	ふるさと林道緊急整備事業
		牧園	20,000	牧園	23,000		
2	伊勢坂線	継続	道路改良 L=460m w=3.0m 補償	継続	道路改良 L=300m w=3.0m 用地・補償	H 25	辺地対策事業
		溝辺	17,192	溝辺	22,800		
3	国分山麓線	継続	用地・補償	継続	用地・補償	H 27	広域基幹林道整備事業
		国分	584	国分	2,000		
4	大屋敷線	継続	道路改良 L=205m W=4.0m	継続	道路改良 L=230m W=4.0m	H 25	過疎対策事業
		福山	4,500	福山	5,000		
5	大谷第2支線	新規	測量設計委託 L=1,473m W=4.0m	継続	改良舗装 L=200m W=4.0m	H 27	過疎対策事業
		横川	4,200	横川	15,000		
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 4 新規 = 1 継続 = 5 新規 = 0

		H 24	H 25	<全体事業費>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	1	1		事業費	46,476	67,800	21,324
溝辺	1	1		事務費			0
横川	1	1		合計	5路線 46,476	5路線 67,800	0 21,324
牧園	1	1					
霧島				<財源内訳>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人				国庫補助金			0
福山	1	1		県支出金			0
				地方債	43,800	63,500	19,700
				その他			0
				一般財源	2,676	4,300	1,624
				合計	46,476	67,800	21,324

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	② この事務事業に対する議会から出された意見
地元自治会や森林所有者より、山村地域の振興や定住環境の改善のために早期完成が望まれている。	特になし。

事務事業 コード	742212	事務 事業名	林道整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道整備を行うことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行うための基盤整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道整備は市の役割である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	林道の維持管理費の増加及び森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を促進する観点から、今後は開設・改良・舗装事業等により森林整備の作業効果を高めたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	742210	事務事業名	林道等維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	森林整備グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	2	生産基盤の整備		内線番号	2361
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 23 年度~)
	項	2	林業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	3	林道事業費	根拠法令・条例等	林道管理条例
	コード	742210			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
市が管理している林道・作業道・作業路の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認し、維持管理上、危険と判断した箇所について補修工事や除草を実施。			林道等の修繕箇所数 35箇所 林道敷払い委託 102,245m 保守点検を行った路線数 89路線			
			平成25年度計画			
			林道等の修繕 林道敷払い委託 林道保守点検			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	林道等の修繕箇所数	箇所	35	23	30	30
イ	林道敷払い委託延長	m	66,147	102,245	132,000	132,000
ウ	林道保守点検	路線	89	89	89	89
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	霧島市が管理する林道等	市が管理する林道の路線数	路線	89	89	89
イ	"	市が管理する林道延長	m	177,684	178,199	178,879
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	適切に管理される	林道利用に関する苦情	件	25	32	25
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	効率的な林業生産基盤が整う	林業生産基盤(林道)の整備率	m/ha	5.4	5.4	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)
予算額	当初予算額	24,215
	補正及び流用	20,151
	予算合計	24,215
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	5,460
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	18,637
支出合計	24,097	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
林道は森林管理を図る上で重要な社会基盤であり、市(及び県)が昭和23年頃から整備を進め、その維持管理を行う事業として本事業が開始された。	林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたため、生活路線へ変化してきている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
生活路線としての意味合いが出てきたため、一般利用者から交通安全対策等の強化の要望が増えてきている。	特になし。

事務事業コード	742210	事務事業名	林道等維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費	49		49						
10 交際費									
11 需用費	6,721		6,721	6,811		6,811	6,811		6,811
消耗品費	86		86	86		86	86		86
燃料費	721		721	725		725	725		725
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	5,914		5,914	6,000		6,000	6,000		6,000
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	13,397		13,397	9,340		9,340	9,340		9,340
14 使用料及び賃借料	2,986		2,986	3,000		3,000	3,000		3,000
15 工事請負費									
16 原材料費	944		944	1,000		1,000	1,000		1,000
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	24,097		24,097	20,151		20,151	20,151		20,151

財源内訳	国								
	県	5,460		5,460					
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	18,637		18,637	20,151		20,151	20,151		20,151
計	24,097		24,097	20,151		20,151	20,151		20,151

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	24,215 千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算				
	第1回		第5回		
	第2回		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		流用		
予算合計	24,215 千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	742210	事務事業名	林道等維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検を行うことで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整備の推進が図られるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道の維持管理は市の役割であるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	林道は木材の搬出、森林保全管理のための重要な基盤であり、対象及び意図は適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	林道の機能及び安全の維持が目的であるため、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 類似事業なし
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	林道を交付税対象となる市道に認定するなど、土木課と連携し、事業費の削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	簡易な維持管理については職員で対応しているが、これ以上の経費削減は適正な林道の維持管理上、困難である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は森林所有者、作業従事者及び林道等利用者であり、林道管理は市となっているため公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		夏場の繁茂期に通行に支障があるとの理由で草払いの依頼があり、市から業者に草払いを委託している。そのほか、林道舗装の凹凸等の改善要望があるため、その都度補修等を行っている。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
決められた予算内であるが、交通量の多い生活道路化された路線については年2回の草刈りを実施し、また、路面上に堆積した腐葉土除去や側溝埋塞箇所の清掃を行い、通行者の安全を確保し、かつ、災害発生の防止に努める。	